学校番号	1101

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編「現代の国語」　（大修館書店出版）						
副教材等	ビジュアルカラー国語便覧改訂版（大修館書店） 常用漢字の１・２トライ（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・文章読解や感想、物語などの文章作成を取り入れた授業を行います。
・グループワークや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
これからに必要な国語の知識や技能を身に付け活用できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
思考力、判断力を伸ばすとともに，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えをまとめたり表現したりできるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】
目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができ、人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」,「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	ことばをひらく ［教材］ 「この春、なにを始めよう」 「コミュニケーションは技術だ」	a：常用漢字の音訓を正しく読み、正しく書いている。 b[話聞]：これからの目標を、相手に伝わりやすいように工夫し、発表できている。 c：教材の学習を通してコミュニケーション能力を高めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	論理を読み取る ［教材］ 「水の東西」	a：文章を通して具体例と抽象的表現について理解できている。 b[読]：接続詞や具体例と抽象的表現に注目し、文章の論理を正しく読み取れている。 c：文章の具体例と抽象的表現を的確にとらえようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	わかりやすく説明する ［教材］ 「ナンバーワンか、オンリーワンか」 「伝わるように話そう」	a：接続語や具体例に注目し、表現の効果を理解する。 b[話聞]：自分の主張を論理的に話すことができている。 c：相手に伝わりやすくするための工夫を学び、実践しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
後期	情報と向き合う ［教材］ 「情報の力関係」 「どこもかしこもプラスチック！」	a：文章の表現や図などの視覚資料を的確にとらえている。 b[書]：単元教材を参考に紹介文を書いている。 c：言葉の特徴や漢字などについて理解し、知識を身に付けようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

	社会に目を向けて ［教材］ 「何のために「働く」のか」	a:身の回りや世の中に目を向けて、課題を見つけて改善方法を思考、発想を広げ考えている。 b[書]:教材を通して自分にとっての「働く」とはどういうものかをまとめ、文章を書いている。 c:進んで文章全体を整え、今までの学習を生かして問いに対する自分の考えを、他者の意見を踏まえながらよりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　20　）時間